

平成21年度

# 赤平市の家計



3月開会の赤平市議会第1回定例会において21年度の各会計予算が可決されました。

新年度の予算は「赤平市財政健全化計画(改訂版)」を基本として編成し、当市の懸案となっている「地方財政健全化法」に基づく連結実質赤字比率が早期健全化基準を下回ることを最大の目標としつつ、一方では現下の厳しい雇用情勢に対応するため「緊急雇用創出事業費」を新設するとともに、公共事業の一部前倒しを行い雇用の場の確保に努めました。

## 各 会 計 予 算

| 会 計 区 分        | 21年度予算額    | 20年度予算額    | 前年度比    |
|----------------|------------|------------|---------|
| 一 般 会 計        | 77億 924万円  | 82億9040万円  | △ 7.0%  |
| ※公的資金借換債を除いた場合 | 76億6994万円  | 81億1890万円  | △ 5.5%  |
| 国民健康保険特別会計     | 30億5780万円  | 32億1942万円  | △ 5.0%  |
| 老人保健特別会計       | 51万円       | 2億5290万円   | △ 91.1% |
| 後期高齢者医療特別会計    | 2億3205万円   | 2億3181万円   | 0.1%    |
| 土地造成事業特別会計     | 51万円       | 6733万円     | △ 99.2% |
| 下水道事業特別会計      | 8億3964万円   | 13億 345万円  | △ 35.6% |
| ※公的資金借換債を除いた場合 | 6億8384万円   | 6億8135万円   | 0.4%    |
| 霊園特別会計         | 582万円      | 584万円      | △ 0.3%  |
| 用地取得特別会計       | 7416万円     | 1億8217万円   | △ 59.3% |
| 介護サービス事業特別会計   | 2億3829万円   | 2億3534万円   | 1.3%    |
| 介護保険特別会計       | 12億 780万円  | 11億7396万円  | 2.9%    |
| 水道事業(企業)会計     | 4億5147万円   | 4億2686万円   | 5.8%    |
| 病院事業(企業)会計     | 27億 256万円  | 23億6727万円  | 14.2%   |
| 合 計            | 165億1985万円 | 177億5676万円 | △ 7.0%  |
| ※公的資金借換債を除いた場合 | 163億2475万円 | 169億6316万円 | △ 3.8%  |

## 緊急雇用創出事業

**5,695万円**

この事業は、本市を取り巻く厳しい雇用情勢の中、雇用不安を抱える方々が増加しており、このような状況を改善するため、北海道の「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」と地方交付税の「地域雇用創出推進費」を活用し、嘱託・臨時職員の新規採用と業務委託により、新規雇用を図る事業です。

事業内容は、各種調査データベース化作業、草刈等の軽作業など21事業。新規雇用者数は48名予定しています。

## 性質別予算のポイント！

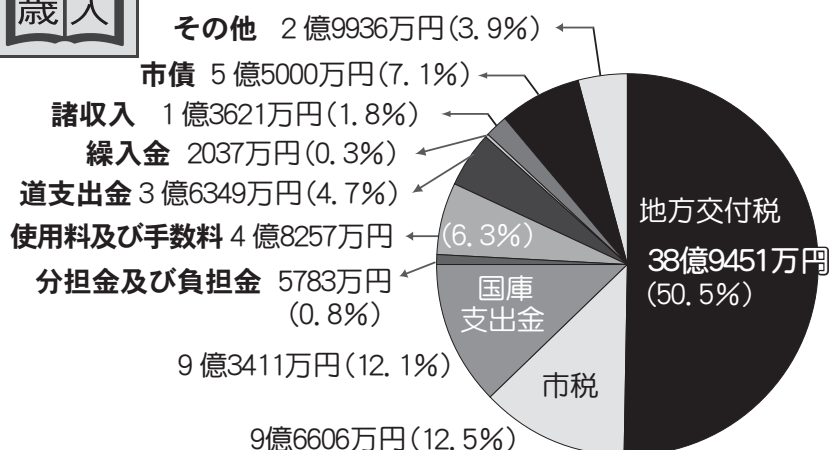
人件費は職員の給与削減率の減少などに伴い、対前年度比18.2%の増となっています。普通建設事業費は市道改良舗装事業(4路線)や公営住宅施設整備事業(給排水管取替工事等)、高規格救急自動車の導入などを予定し、対前年度比で65.6%の増となっています。維持補修費については、市内各施設の老朽化に対処するため対前年度比33.0%の増となっています。公債費は公的資金借換債を含んで、対前年度比で15.7%減少しています。

## 一般会計性質別予算

| 性 質 別 区 分      | 21年度予算額   | 20年度予算額   | 削減率     |
|----------------|-----------|-----------|---------|
| 人 件 費          | 11億8176万円 | 9億9999万円  | 18.2    |
| 物 件 費          | 7億7474万円  | 7億2109万円  | 7.4     |
| 補 助 費 等        | 12億6803万円 | 11億 968万円 | 14.3    |
| 扶 助 費          | 15億3522万円 | 14億3308万円 | 7.1     |
| 普 通 建 設 事 業 費  | 4億 367万円  | 2億4371万円  | 65.6    |
| 維 持 補 修 費      | 2億6221万円  | 1億9719万円  | 33.0    |
| 公 債 費          | 9億9875万円  | 11億8475万円 | △ 15.7  |
| ※公的資金借換債を除いた場合 | 9億5945万円  | 10億1325万円 | △ 5.3   |
| 積 立 金          | 4127万円    | 7億 619万円  | △ 94.2  |
| 投 資 及 び 出 資 金  | 9520万円    | 150万円     | 6246.7  |
| 貸 付 金          | 3536万円    | 5億6027万円  | △ 93.7  |
| 繰 出 金          | 9億7333万円  | 11億3195万円 | △ 14.0  |
| 予 備 費          | 1億3971万円  | 100万円     | 13871.0 |
| 合 計            | 77億 924万円 | 82億9040万円 | △ 7.0   |
| ※公的資金借換債を除いた場合 | 76億6994万円 | 81億1890万円 | △ 5.5   |

※平成19年度から21年度までに限り、金利5%以上借入金(市債)を一度償還し、同じ年度内にほぼ同額を低金利に借り換えるものです。

## 歳入



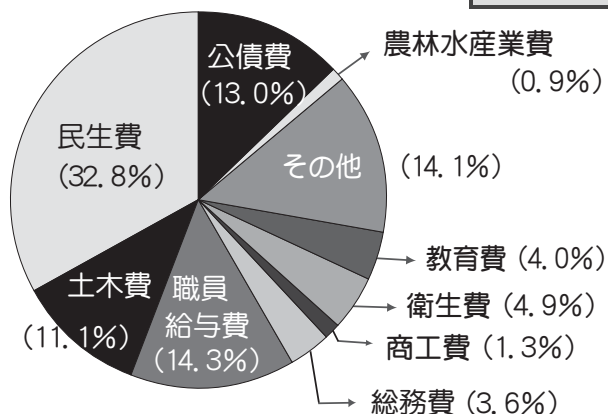
## 歳入の主な内容

- ①市税総額は、長引く景気低迷や市職員の給与の削減などの影響により対前年度比4.7%の減。
- ②地方交付税は、普通交付税において緊急雇用創出推進費の創設などの増加要因もあり、臨時財政対策債(普通交付税の振替措置)を含めると対前年度比0.2%の増。
- ③市債は、普通建設事業の増加により対前年度比38.2%の増。

## 歳出の主な内容

- ①職員給与費は、職員の給与削減率の減少などに伴い、対前年度比18.9%の増。
- ②総務費が対前年度比で67.4%の減。これは前年度に㈱花卉園芸振興公社に対する対策として積立金を計上していたため。
- ③労働費は、緊急雇用創出事業費を創設したことにより対前年度比1131.9%の増。
- ④消防費は消防車両(高規格救急自動車)の導入により対前年度比101.2%の増。
- ⑤教育費については、学校施設耐震補強事業(赤間小学校)などにより対前年度比4.1%の増。

## 歳出



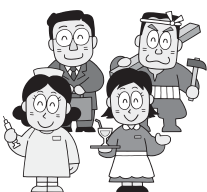
## 総務費



2億7783万円

庁舎管理や徴税、戸籍、選挙、監査委員などにかかる経費。

## 商工費



9981万円

商工業の振興対策や観光の振興に使われる経費。

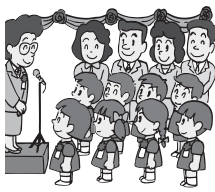
## 衛生費



3億7398万円

検診など保険予防対策やごみ処理、環境衛生などの経費。

## 教育費



3億1154万円

学校や社会教育の振興、学校施設の整備に使われる経費。

## 農林水産業費



6762万円

農業対策や農業振興及び森林整備などに関わる経費。

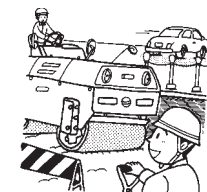
## 職員給与費



11億424万円

市で働く職員の給料などを支払う経費。

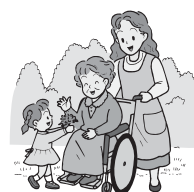
## 土木費



8億5921万円

道路整備や公営住宅建設、除排雪に使われる経費。

## 民生費



25億2507万円

高齢者や生活保護など市民の福祉対策に使われる経費。

## 公債費



9億9875万円

市が事業を行うために借り入れしていたお金の返済金。

## その他

- ・議会費 4996万円
- ・労働費 6036万円
- ・消防費 6673万円
- ・諸支出金 7億7443万円
- ・予備費 1億3971万円